

発行日: 2012-06-14

改訂日: 2025-12-08
バージョン 4

1. 化学品及び会社情報

製品名 SimpleCHIP® Enzymatic Cell Lysis Buffers A & B
製品番号 14282
キット構成要素 7006: Buffer A (4X)
7007: Buffer B (4X)

安全データシートの供給者の詳細 製造者

Cell Signaling Technology
3 Trask Lane
Danvers, MA 01923
United States
電話 +1 978 867 2300
ファックス +1 978 867 2400
メールアドレス

供給者

CSTジャパン株式会社
東京都千代田区内神田1-6-10
笠原ビルディング10階 〒101-0047
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

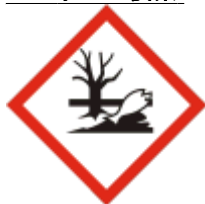
意図される使用 ライフサイエンス研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

水生環境有害性 - 急性	区分 2
水生環境有害性 - 慢性	区分 2

GHSラベル要素



注意喚起語
警告

危険有害性情報

H400 - 水生生物に非常に強い毒性
H410 - 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

応急措置

漏出物を回収すること。

廃棄

内容物、容器を国際、国、都道府県、及び市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

キット 構成要素		7006: Buffer A (4X)		
化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	1-5	7-172	(7)-172	9036-19-5

キット 構成要素 7007: Buffer B (4X)
適用法令により開示が必要とされる成分はない。

4. 応急措置

吸入した場合	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと多量の水で洗浄する。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。刺激が続く場合、医師を呼ぶ。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないこと。水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えます。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師に相談する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。火災を拡散するおそれがあるので棒状水を使用しないこと。
特有の危険有害性	熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。火災および/または爆発時には、ヒュームを吸い込まないこと。
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

6. 漏出時の措置

緊急時対応要員以外の人用	皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。人員を安全な区域に避難させること。保護具を使用する。適切な保護衣を着用している場合を除き、損傷した容器や漏出物には触らないこと。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項	漏れた物質を泡で覆い、発火の危険性を低減すること。安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。地下水を汚染してはならない。重大な漏出を封じ込めることができない場合は、地方自治体に報告しなければならない。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	液体漏出物を砂、土又はその他の不燃性の吸着材料で覆うこと。回収して適切に表示された容器に移すこと。汚染された表面を十分に浄化すること。製品が排水路に入らないようにすること。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。包装容器のラベルに記載の指示に従って使用すること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。保護具を着用する。物質の飛散や漏洩を防ぐこと。
----------	---

保管

保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。
------	-------------------------------

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	シャワー 洗眼場 換気システム
許容濃度	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
生物学的許容値	該当しない
環境ばく露防止	情報なし
保護具	
呼吸用保護具	【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	不浸透性手袋
眼及び／又は顔面の保護具	密着性の高い安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

キット構成要素	7006: Buffer A (4X)
物理状態	液体
外観	無色透明
色	無色
pH - 値 1	7.5 (20 °C)

キット構成要素	7007: Buffer B (4X)
物理状態	液体
外観	無色透明
色	無色
pH - 値 1	7.5 (20 °C)

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定
避けるべき条件	極度の温度及び直射日光 長期間にわたって、アジ化ナトリウムは配管システム内の銅、鉛、真鍮、またははんだと反応して、爆発性の高いアジ化鉛およびアジ化銅の化合物の蓄積を形成する可能性があります。
混雑危険生成物	強酸、強塩基、酸化剤
危険有害性分解生成物	熱分解すると刺激性及び有毒なガス及び蒸気を放出する可能性がある

11. 有害性情報

急性毒性

成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	1700 mg/kg (Rat)	-	-

製品情報

経口	出荷時の製品に由来する危険有害性はない。
吸入	出荷時の製品に由来する危険有害性はない。
皮膚接触	出荷時の製品に由来する危険有害性はない。
眼接触	出荷時の製品に由来する危険有害性はない。
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 情報なし

誤えん有害性 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品情報

成分情報

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	EC50 0.21 mg/L (Selenastrum) 96 h	LC50 7.2 mg/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h	LC50 8.6 mg/L (Daphnia magna) 48 h

残留性・分解性

キット構成要素
残留性・分解性 7006: Buffer A (4X)
難分解性

キット構成要素
残留性・分解性 7007: Buffer B (4X)
易生分解性

生態蓄積性

キット構成要素
生態蓄積性 7007: Buffer B (4X)
生物濃縮される可能性は低い

移動性 情報なし

他の有害影響

内分泌かく乱物質情報 内分泌かく乱物質であることが知られている、又は疑われる物質を含む

化学名又は一般名	EU - 内分泌かく乱物質候補リスト	EU - 内分泌かく乱物質 - 評価済み物質	日本-内分泌かく乱物質情報
ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	Endocrine disrupting properties, Article 57f - environment	-	-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号 UN3316
品名(国連輸送名) Chemical Kit
国連分類(輸送における危険有害性クラス) 9
容器等級 III

ADR

国連番号又はID番号 UN3316
 品名(国連輸送名) Chemical Kit
 国連分類(輸送における危険有害性
 クラス) 9
 容器等級 III

IATA

国連番号又はID番号 UN3316
 品名(国連輸送名) Chemical Kit
 国連分類(輸送における危険有害性
 クラス) 9
 容器等級 III

日本

国連番号又はID番号 UN3082
 品名(国連輸送名) 環境危害要因物質、液体、その他特に指定なし
 国連分類(輸送における危険有害性
 クラス) 9
 容器等級 III

15. 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

化学名又は一般名	含有率 %	区分	管理番号
ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル 9036-19-5	1-5	第1種指定化学物質	408

労働安全衛生法

化学名又は一般名	区分	含有率 %
ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル 9036-19-5	安衛法表示対象物質 (令和8年 4月1日以降)	1-5

16. その他の情報

発行日: 2012-06-14

改訂日: 2025-12-08

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA: 時間加重平均値 Ceiling: 最大限值:
 * 皮膚兆候 + 感作物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
米国環境保護庁
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
RTECS (化学物質毒性データ総覧)
世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終